

## 助成事業実施報告書

特定非営利活動法人 ドレミの仲間  
理事長 坪田 将

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

音楽で響き合う!!みんなとの絆・社会との輪!! ドレミの仲間 発表会 & コンサート

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1989年に5名の重度障がい児の音楽を楽しみたいとの要望を受け、活動をスタートいたしました。障がいの程度を問わず活動の輪を広げていき、地域活動デイグループとして活動してきました。2012年に特定非営利活動法人の認可を受け、現在に至る。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ドレミの仲間の活動の成果を発表する障がい児・者(会員)が主役の会員による会員のためのコンサート! 会員が成果を見てほしい方々を招待し、会員のみんなの力・気持ちを音楽を通して町田へ、社会へ発信する!

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- 1.オープニング (通常活動時の同じ形でスタート)
- 2.ドレミの仲間 活動メンバーの発表会(全16グループ 各5分~7分の発表)
- 3.ゲスト演奏 プロのパーカッショニストによる演奏
- 4.参加者全員での「みんながミュージシャン」コーナー(ドレミの仲間 会員、職員による演奏に合わせて、外部参加者も一緒に演奏できるコーナー)
- 5.エンディング (通常と同じ音楽で、全員で大きな輪になって手をつなぎ終了)

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果:2部制で実施 1部 会員 24名(保護者 25名) 外部参加者 23名  
2部 会員 35名(保護者 33名) 外部参加者 34名

成果:利用者さんたちは、演奏を発表することで、自信に満ちた様子でした。「みんながミュージシャン」コーナーでは、舞台での演奏に加え、客席へ楽器を配って会場のみなさんが一体となる演奏ができ、とても良かった、とご感想いただきました。

社会的な変化:学童デイサービスや職場の職員、町田市関係者にもご参加いただき、ご利用さんが笑顔で過ごしている様子を見ていただきました。日中活動の場では、非常に情緒不安定な方がその場にて楽しんでいることを評価いただきました。

効果:毎年実施することで、発表の場が定着し、ご利用者さんの中にも目的意識を持って、意欲的に活動に臨む様子が見られました。1年目は客席にて鑑賞、2年目は発表に出演、3年目は「みんながミュージシャン」のコーナーで楽しむことができた方もいらっしゃいます。感謝致します。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

福祉の現状は大変厳しい状況にありますが、人間らしく生きていくために余暇の場がとても大切だと感じています。どうしても学校や職場と家庭の往復になってしまいがちな障がい児・者の日常を、暖かく実りのあるひとときにできるよう活動していきたいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

